

# 「アクションプラン2012」を策定

国東市では現在、平成23年度から平成26年度までの4年間を計画期間とする「新行財政改革プラン」で定めた項目を実現するために、組織機構の見直しや職員研修制度の充実、職員提案制度など様々な取り組みを行っております。

今回、平成24年度からの単年度の取り組み内容を明確にする「アクションプラン2012」を策定しました。これは、新行財政改革プランの計画期間中に、事業実績や社会経済情勢の変化などに柔軟に対応するために、年度ごとに取り組み内容の見直しを行い、課題を次年度にすばやく反映させようというものです。今年度のアクションプランでは、以下の各項目に取り組みます。

- ①行政経営会議の新設 ②市民満足度調査の実施 ③公共施設の見直し方針の策定 ④定員適正化計画の策定 ⑤総人件費の見直し、適正化 ⑥諸施策の推進と進行管理 ⑦財政推計の見直し

今回の市報では、上記「アクションプラン2012」の中で、各課が到達目標を設定して、今年度重点的に取り組む施策を抜粋して紹介します。

課名	取組項目	到達目標
総務課	防災計画の見直し	大分県地域防災計画と整合性を保つ地域防災計画を策定する。
	地域における自主防災組織の強化	育成講座を開催し、全行政区に防災士を配置する。
広報課	市政懇談会の開催	市内16会場で開催する。
	ふれあい市長室の開催	希望する各種団体の申し込みにより開催する。
広報室	市勢要覧 <sup>1</sup> の見直し	市勢要覧の見直しを行い、作成する。
	広報活動の充実	暮らしの便利帳を作成する。
企画課	総合計画の見直し	後期5年間の見直しを行い、策定する。
	市民団体との連携、協働	まちづくり公募補助金プレゼンテーション審査会、事業報告会を開催する。
建設室	新庁舎の建設推進	新庁舎建設計画基本構想、基本計画を策定する。
	新庁舎建設検討市民委員会の開催	地域審議会委員を中心に委員を選定し、委員会を開催する。
財政課	公債費負担適正化	実質公債費比率 <sup>2</sup> 18%未満にする。
	ファシリティマネジメント <sup>3</sup> の推進	取り組みの方針を策定する。
対策室	債権管理の管理体制の整備	債権管理のルールづくりを策定する。
	未収債権（税、保育料等を除く）の回収	支払督促等の法的措置を実施する。

1 市勢要覧とは、市の人口・産業・経済・施設など各分野の情勢を、総合的に統計図表などを用い、要点をまとめて、見やすくした文書です。

2 実質公債費比率とは、実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標です。

3 ファシリティマネジメントとは、施設、土地といった財産を経営資産として捉え、経営的な視点から管理運営を行うことにより、総合的・長期的観点からコストと便益の最適化を図りながら、財産を適正に管理・活用していく経営管理手法です。